

手術（腹腔鏡、開腹、子宮鏡）

子宮筋腫核出術

子宮筋腫をくり抜くように取り、妊娠率の向上や過多月経などの症状の改善を目指します。手術中の出血に備えて、必要に応じ自己血貯血を行うこともあります。個数や大きさにより、開腹/腹腔鏡下/腹腔鏡補助下で手術を行うか判断します。

※手術内容にもよりますが、術後3～6ヶ月の避難期間が必要です。

入院期間	開腹手術：約9日間 腹腔鏡手術：約7日間
費用	約25万円

卵巣嚢腫核出術

卵巣を極力温存し、卵巣に合併している内膜症性嚢胞(チョコレート嚢胞)や卵巣腫瘍(成熟嚢胞性奇形腫)のみ取り除き、妊娠率の向上を目指します。主に腹腔鏡で行いますが、大きさや癒着の程度により開腹で行う場合もあります。

入院期間	開腹手術：約9日間 腹腔鏡手術：約7日
費用	約25万円

卵管切除術

卵管を切除することで、難治性不妊の改善を目指します。

卵管水腫や卵巣卵管周囲に癒着が疑われる方などを対象としています。主に腹腔鏡で行います。

入院期間	開腹手術：約9日間 腹腔鏡手術：約7日間
費用	約25万円

子宮鏡下内膜ポリープ/子宮筋腫切除術

受精卵の着床部位である子宮体部にできたポリープや筋腫を切除し、子宮内環境の改善を目指します。不妊症の患者さんだけでなく、過多月経の患者さんの治療として行うこともあります。

筋腫に関しては、サイズが小さく、子宮内に突出している場合に適応となります。手術前日に子宮頸管を拡張し、麻酔下で手術を行います。

入院期間	約2～3日間
入院費用	約6万円

子宮内容除去術

主に稽留流産に対して、手動真空吸引法（MVA）で行います。

手術前日に子宮頸管を拡張し、麻酔下で手術を行います。

入院期間	約2日間
入院費用	約6万円

※病状や手術内容により、日程や費用が上記と異なる場合があります。詳しくは担当医にご相談ください。